

拠点間連携共同研究について

(1) 共同研究の公募

- ・令和2年度東大地震研・京大防災研拠点間連携共同研究について、令和元年12月26日から令和2年1月31日の期間において公募を行った。公募は昨年度と同様に重点推進研究と一般課題型研究に分けて行った。応募された資料をもとに、拠点間連携共同研究委員会において令和2年2月14日から令和2年3月2日にかけて委員全員が採点し、集計結果に基づき拠点間連携共同研究委員会・幹事会が採択の原案を作成し、3月16日から3月23日にかけて拠点間連携共同研究委員会のメール回議を開催し、審査結果をもとに採択案を作成した。

(2) 審査結果

- 一般課題型研究（新規）
本研究について、新規7件の申請があり、評価平均点の上位5課題を採択課題（案）とした。
 - 一般課題型研究（継続）
本研究について、6件の申請があり、審査の結果、全6件を採択課題（案）とした。
 - 重点推進研究（新規）
本研究につき、統括研究に8件、特定分科研究（その1）に1件、特定分科研究（その2）に3件、特定分科研究（その4）に1件、の計13件の参加申請があり、審議の結果、この全13件を採択課題（案）とした。
- ・上記の1次審査の結果を東京大学地震研究所共同利用委員会と京都大学防災研究所共同利用・共同拠点委員会に報告して2次審査を依頼し、両委員会において令和2年3月24日から3月30日の間のメール回議にて審議され、採択課題（案）が承認された。

(3) その他

- ・令和2年2月20日～21日に開催された京都大学防災研究所研究発表講演会にて、拠点間連携共同研究の成果報告1件と2課題の口頭発表及び2課題のポスター発表による研究成果の発表がされた旨の報告があった。
- ・令和2年度の拠点間連携共同研究委員会委員の交代については、候補者を選定の上、今後のメール回議で改めて承認を得る予定である。
- ・一般課題型採択課題に対する課題個別の予算配分については、令和2年度の第1回拠点間連携共同研究委員会にて審議する予定である。